

◇◇ 一般公開 “土木の日” ◇◇

－「土木の日2009」開催報告－

国総研旭庁舎では独立行政法人土木研究所と協力して、11月18日（土）に実験施設等の一般公開を行いました。今年は朝から雨が降り、あいにくの空模様でしたが子どもたちを中心に一般市民の方、職員のご家族など414名の方々に参加していただきました。

今回のイベントでは、来所者の皆様に、広く土木事業や研究所の仕事を理解していただくために、以下のコンテスト、実験施設の見学や体験コーナーを実施いたしました。

【PICK UP】

◇ボール紙でつくる橋コンテスト

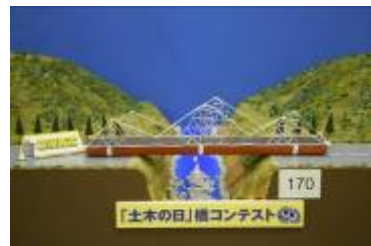
橋コンテストは子どもたちにもものづくりの楽しさを体験してもらうために毎年行っており、今回が16回目になります。対象はつくば市内の小学五年生で、今回は25校から315名、282作品の参加がありました。事前に美術専門家、教育関係者、橋梁専門家による審査会を開き、当日は最優秀賞3作品、美術デザイン賞5作品、構造デザイン賞5作品、努力賞5作品の計18作品を表彰しました。



展示の様子



平和の橋



マウンテンブリッジ



迷路ブリッジ

最優秀賞の3作品

◇主な実験施設の公開や展示の状況



【試験走路】

一周6,152mの試験走路をバスで走行しながら走路内にある様々な道路関連実験施設を紹介しました。普段は体験できないバンク部の走行や見学に、大きな歓声があがっていました。



【土石流発生装置】

土石流発生装置（山の斜面の模型）を用いた土石流の実験を見て頂きました。砂防えん堤があるケースとないケースでそれぞれ土石流を発生させ、砂防えん堤が巨石を食い止め、人命や家屋を守っていることを説明しました。



【はたらく自動車】

霞ヶ浦導水工事事務所、霞ヶ浦河川事務所、常陸河川国道事務所、常総国道事務所及び下館河川事務所にご協力いただき、様々な展示と働く自動車の紹介を行いました。



【景観シミュレーション】

景観シミュレータを使って、道路を通したり、橋を架けたり、住宅や公園を作ったり…、来場者の皆さんに思い思いの街を作って頂きながら、実際の街がどのように作られていくのか、どうしたら住みよい街ができるのか、考え、体感頂きました。



土木の日を盛り上げてくれた和太鼓演奏、バンド演奏、バイオリンとピアノ演奏や、吾妻小のマーチングバンドなど